



2013.11.10 七五三

「主の道を整え、その道筋をまつすぐにせよ」  
— 主の道になろう —

助任司祭 フック神父

待降節を迎える度に、典礼的な聖書朗読には預言者イザヤ、そしてイエスの誕生と直接的に関わった聖母マリアと養父聖ヨセフ以外に、特に待降節第二と第三の主日の福音には、ある人物がイエスの先駆者として必ず登場します。言うまでもありませんが、それは洗礼者聖ヨハネのことです。ヨハネは「荒野で叫ぶ声です。主の道を整え、その道筋をまつすぐにせよ」という預言者イザヤのメッセー

ジを掲げながら登場します。では、ヨハネはどのような姿で主の到来の道の準備を人々に呼び掛けたのでしょうか。マタイ福音書によると、ヨハネは「らくだの毛衣を着、腰に革の帯を締め、いなごと野蜜を食べ物とした(3・3)」。姿で現れました。つまり、ヨハネは人々に呼び掛ける前に自分の生活そのもの、また自分自身そのものを整えて主の道にしたわけです。お陰さまで、多くの人々はヨハネを通してイエスのもとに導かれまし。言い換えてみますと、ヨハネご自身が主の道になったわけです。

その意味で、「主の道を整え、その道筋をまつすぐにせよ」という待降節のメッセーは単なる自分自身は主イエスを心に迎えるための準備の呼びかけだけではなく、一人ひとりが、主イエスが多くの人の心に来られる道にもなるように招いているのです。もつと具体的に言えば、家族においては親は子供たちのための「主の道」、学校においては教師は生徒たちのための「主の道」、社会においては配当は若者たちのための「主の道」、また小教区においては教会の共同体は周りの人々のための「主の道」になるように、呼びかけられているのです。確かに「自分自身を正すため、また多くの人々のための「主の道」にするのは単純なことではなく、そして僅かな四週間の待降節だけでは不可能に近いのです。むしろこの使命はキリスト者の生涯の待降節を典礼的な特別な期間として有効的に過ごしたこの助けを願いながら、自分なりの「主の道」になるという努めに挑戦してみませんか。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時  
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)  
火曜日 午後7時  
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時  
聖体礼拝： 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻：

土曜日 午後2時30分  
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時  
Sunday Mass in English 9:30 am  
(at the Maria Kan Hall)  
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

2013年12月1日

司祭団より

- ・土曜日14時30分ミサの時間変更に関するアンケートを実施する予定。
- ・アントニー師が12月26日から3ヶ月休暇に入る。ボグダン師は14年6月からの予定。
- ・3週間程前に、大聖堂内部の献金箱のカギが壊され献金が盗まれていた。今後、対策を考える。

報告事項

- 東日本大震災復興支援のための祈り募集結果について
- ・12月1日現在で2名と2団体が集まる 内容は月報に掲載。

納骨堂建設委員会より現況報告と竣工式の案内について

- ・280名の申込みがあった。工期が少し遅れているが12月8日の引渡しには間に合う。
- ・12月15日の9時半ミサ後に竣工式を開催。
- ・完成後の募集については竣工式以降に開始するよう、準備中。

- 司教様を囲む新年の集いについて
- ・1月26日に司教様を囲む新年の集いが開催される。

信仰年を終えて

- ・14年10月5日から18日まで開催されることになっている「新しい福音宣教の文脈における家族の司牧的課題」というテーマの司教会(シノドス)のための準備として、カトリック教会において家族が2014年の大きな課題になるようです。
- ・15年は奉獻生活の年となる。

教会バザーで残った商品の配布先について

- ・バザーでの物品の残りをフリーマーケット新品コーナーの方がご提供くださった。11月5日に樹の会の方々が物品の残りを「麦の穂学園」「駆け込み女性センター」「岐阜ダルク」の3か所に配分してお持ち帰りになった。おかげさまで倉庫には残り物がなくなりました。
- ・樹の会の方が物品の残り物は、大歓迎と、厚くお礼を申しとおられた。

その他

- ・教会の鐘の鳴りが少ない。冬でグリスが固くなっているため、近々に処理を実施する。
- ・11月24日にオルガン修理の見積もりが出揃った。12月14日に第3回オルガニストの会が開催される。
- ・14年1月に第1回オルガン管理委員会を開催予定。日程を調整中。
- ・中庭の花壇についてはブロッコクの固定をし、完成した。

審議事項

- クリスマスミサ・パーティー・年末年始ミサの確認について
- ・12月24日 16時、20時、24時 (全て大聖堂)
- ※クリスマスパーティー奉仕者を募集中。
- ・12月25日 7時 (小聖堂)
- ・12月31日 10時、19時 (大聖堂)
- ・1月1日 10時 (大聖堂)

- 来年度各会予算案提出について
- ・各会からの予算要求の期限は12月中。増減の予定を事務所まで提出ください。

- 更新時期を迎えた備蓄食料品・保存水の処分方法について
- ・保存水は、12月15日のヨセフ

- 館竣工式でお茶を沸かすのに試みで使用する。
- ・乾パンは、25年保存フーズ購入後利用を考える。

- 東日本大震災やフィリピン台風被害支援への小教区でできることについて
- ・フィリピン台風(案)
- ・カリタスジャパンが継続的に支援していくかを情報収集する。
- ・フィリピンで何が必要かをもう少し情報収集する。
- ・東日本大震災(案)
- ・ボランティアに対する交通費補助を出す。
- ・神奈川教区で実施しているTシャツを販売し、売り上げを寄付する。

各会報告

- マリア会
- ・11月29日(金) 神父様方3名、参加者50名の総勢53名で、バザー慰労のため、明治村に出かけた。ザビエル天主堂でゴミサにあずかった。

子供部屋

- ・子供部屋クリスマス会 12月14日(土) 10時30分からマリア館ホールで予定。

### 教会学校

- ・ 11月10日 七五三ミサ・パーティー。
- ・ 12月8日 聖霊病院へのクリスマス訪問。
- ・ 12月15日 マリア館ホールにて、子供たちのクリスマス劇。

### 中高生会

- ・ 12月15日(日) 高齢者施設「さくらいふ池場」訪問。ミサ後準備をし、昼食をし、施設訪問(天白区)。16時頃、南山教会にて解散。
- ・ 12月21日(土)・22日(日) 堅信一泊黙想会(南山教会) 対象：堅信を受ける中高生のみ
- ・ 12月21日(土) 13時30分 山田恵美子さんのお話(WYDについて) 対象：中高生全員

### 青年会

- ・ 11月17日(日)の夜・バザー お疲れ様会を開催。ボグダン師、アントニー師も来てくだ

12月22日(日)ミサ後、聖霊修道院訪問。中高生会終業式、昼食後13時30分頃解散。  
※たくさんの中高生の参加を願っています。

さり、温かい鍋を囲み楽しい時間を過ごした。

- ・ 12月8日・22日(日) 16時〜青年会開催予定。
- ・ 12月28日(土) 名古屋教区青年委員会主催で、青年対象の忘年会が開催されます。場所：膳棚教会 時間：17時 対象：18歳以上(高校生不可)

### ボーイスカウト

- ・ 12月1日 親子ハイク。約30名参加。東山公園周辺のハイキングを実施。
- ・ 12月24日 クリスマス20時ミサ 駐車場整備。4名参加。
- ・ 1月12日 新春餅つき大会。自由参加。教会中庭にて10時半〜昼過ぎまで。

### オルガン管理委員会

- ・ 11月24日 オルガン修復3業者の見積書がそろった。
- ・ 12月14日 第3回オルガニストの会で提示し資料を作り、来年1月に行う第1回オルガン管理委員会にて検討する予定。

今回は1月5日

## 東日本大震災支援のための祈り

「父なる神よ、子である主よ、神の息吹なる聖霊よ、私たちがこの震災を、被災者が受けた痛みを忘れることのないように。」  
中島 洋江

「慈しみ深い神よ、東日本大震災をはじめ、多くの災害によって亡くなられた人々に、安らぎをお与えください。今も苦しむ人に、助けと励ましをお与えください。そして、復興に携わるすべての方々に、勇気と希望の光を注いでください。」  
：：2012年度南山教会初金ミサ後に、東日本大震災被災者のためのロザリオの祈り・黙想への招きとしてお捧げしたお祈りです。これからも祈り続けるためにお送りいたしました。  
マリア会

## 新春餅つき大会

日時 2014年1月12日 (日)

午前10時〜お昼まで

場所 南山教会 中庭

餡ころ餅 キナ粉餅 雑煮など

食べ放題 どなたでも参加できます

餅つきの実演も参加して下さい

主催

ボーイスカウト名古屋97団



1. 導入

B・ノヴァク神父

「典礼暦年と典礼暦に関する一般原則」(39)に書いてある通りに「待降節は二重の特質をもつ。それはまず、神の子の第一の来臨を追憶する降誕の祭典のための準備期間であり、また同時に、その追憶を通して、終末におけるキリストの第二の来臨の待望へと心を向ける期間でもある。この二つの理由から、待降節は愛と喜びに包まれた待望の時であることが明らかになってくる。」ということである。それに従って、待降節は二つの別の期間から成り立っています。待降節第一主日から12月16日まで続く待降節の第一の部分は、世の終わりに起こるイエス・キリストの再臨のための準備期間です。「主・キリストをすべての預言者は前もって語り、おとめマリアは慈しみをこめて養い育て、洗礼者ヨハネは、その到来を告げ知らせました。」(待降節の第2の叙唱)そのために、待降節の聖書朗読は、イザヤと他の旧約時代の預言者、それから、洗礼者ヨハネと聖母マリアの姿を現していま

す。私たちは、この偉大な人たちを通して語られた神の言葉や彼らを通して神がなさったわざを宣べ伝える言葉を聞くことによつて、イエス・キリストにおいて神の約束が成就され、この約束に基づくイスラエル人の希望がかなえられたことを思い起こしながら、「栄光を帯びて再び来られるとき、今私たちが信頼してひたすら待ち望んでいることは、すべてかなえられます。」(待降節の第1の叙唱)という私たちの希望を再確認し、それを強めるわけです。

12月17日から始まる待降節の第2の部分は、イエス・キリストの誕生の記念を祝うための直接の準備期間となっています。そのために、毎日のミサの中で、イエスの誕生の直前に起こった出来事を描く福音の言葉が朗読されています。

2. 待降節第1主日  
 典礼暦の最後の主日となつて、この年間第32主日と年間第33主日の聖書朗読は、常に近づく世の終わりのことを思い起こしながら、絶えず目を覚ましていて、イエスを迎える準備をするように呼びかけています。待降節に入るとイエスの再臨のテーマがそのまま続けられますの

で、典礼暦は自然に新しい年に入るわけです。

第一朗読は、イスラエル人の歴史に見られる人間の罪と不誠実、またその結果について、と同時に、全人類のための創造のわざの完成である神の平和の計画と救いの約束について語っています。

第2の朗読として、イエス・キリストの来臨と共に神の救いの完成が近づいているので、キリスト者がイエスの再臨を大きな希望を持って心から待ち望んでいることについてパウロの言葉が読まれます。

福音の言葉は、いつでも起こり得るイエスの再臨の時に、イエスを迎えることができるように、イエスに見做つて生き、イエスから与えられた使命を果たすことによつて、心を準備するように呼びかけています。

3. 待降節第2主日

待降節第2主日の第一の朗読となつている、旧約聖書の預言者の言葉は、神に希望をかけたくなつて、日常生活の小さな楽しみにおいて満足と人生の意義を追求するようになったイスラエル人に向かつて、救い主の到来について語りながら、再び希望を

持つて救い主のために道を整えるように呼びかけています。

第2朗読において、聖パウロと聖ペトロの言葉を通して教会は、キリストがすべての人を救われることと、キリスト者が新しい天と新しい地を待ち望んでいることを思い起こし、キリストの愛に愛を持って応えることによつて、「キリストの日に備えて、清い者、とがめられるところのない者となるように」招きます。

福音書の朗読は、旧約時代の預言者たちと同じように、悔い改めて、自分の行いを正すことによつて、来られる救い主のために道を準備するように呼びかける洗礼者ヨハネの姿を表します。

4. 待降節第3主日

待降節第3主日から始まる週の一つの日に、または、この日曜日に12月17日が当たりますので、待降節第3主日は、主の日の始まりとなつていきます。それを強調するために、典礼全体と同じように聖書朗読の中心的なテーマというのは、喜びです。第一の朗読は、イザヤ(A年とB年)とゼファニア(C年)がメシアの時代を描きながら、



神の救いの働きがもたらす喜びについて語ります。

第2朗読として、キリストにかけた希望が揺れたキリスト者のために書かれたヤコブ（A年）とペトロ（B年）の励ましの言葉が読まれます。また、牢獄の中で自分の終わりを迎えようとしているにもかかわらず、大きな喜びに満たされたパウロの姿が現されます（C年）。

A年の福音は、イエスを疑っている洗礼者ヨハネとご自分の行いによってイザヤが語った予言を成就するイエスの姿を現しています。B年とC年の福音は、洗礼者ヨハネの役割、つまり、メシアを迎えるために国民に準備させる使命と、もうすでに生まれていたメシアを紹介する使命を説明します。

### 5. 待降節第4主日

待降節第4主日の聖書の朗読は、イエスの誕生前に起こった出来事を伝えています。

第一の朗読において、メシアがおとめから生まれることを予言するイザヤの言葉（A年）とメシアがベツレヘムで生まれることを予言するミカの言葉、また、メシアの王国は、とこしえに続き、神はご自分の民と共に永遠におられることを予言したナタンの言葉が読まれます。

第二朗読の言葉は、イエス・キリストにおいてこの予言が成就されたこと、罪のあがないと救いのわざが成し遂げられ、人類に関する神の「秘められた計画」が実現されたことを宣言します。

A年とB年の福音は、ヨセフとマリアが受けた「お告げ」の場面を現し、天使がマリアから生まれる子供に、その身分と使命を表す名、つまりイエス（神は救われる）という名を付けるように命令します。そして、聖霊によって宿ったイエスは、神の子であり、インマヌエル（神は我々と共におられる）であるゆえに、イエスを通して神ご自身が私たちの間に入ってきてくださったことも知らされるのです。C年の福音は、「訪問」、つまり、聖霊の働きによってエリザベトは、マリアを主の母として認める場面を現します。

## 東日本大震災支援のための祈り

「神は善なる方、主のなさる事総てよし。時が来ればそれがわかる。」（シラ39:33-34）

……私が常に口ずさむものです。私は8才で満州事変が始まりました。続いて第二次世界大戦、敗戦→食糧不足、20才～30才位迄。その事があって日本は大日本帝国のレベルから諸外国と平和にとの考え方に代わりました。平和憲法があります。

又、日常でも一寸嫌な事があると、すぐ此の「聖言」を口ずさみます。心がすぐ安らかになります。小林アヤ

「天地万物を造られた父である神さま、東日本大震災を通して、わたしたちは人間の知恵、科学技術が造り出した物が、災害を増幅させた事実を見ました。人類が、自然との調和のうちに生きる術を教えてください。

震災で命を奪われた方々の魂には安らぎを、喪失で希望を失った方々には慰めと希望をお与えください。わたしたちが兄弟姉妹の苦しみを忘れることなく、物心の援助で連帯を続けられますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。」

「父である神さま、東日本大震災でわたしたちは、地が揺れ、海が荒れ狂う光景と原発事故に言葉もなく、血が凍る思いでした。あなたがこれを通して語られたことを正しく受けとめさせてください。

現場で命を亡くされた方の靈魂を安らかに憩わせ、肉親を突然失った方の悲しみを癒してください。生きる術を奪われた失意の方々を立ち直らせてください。

わたしたちが援助、犠牲と祈りで苦しむ人々と連帯、共生していくことができますように。主キリストによって。アーメン。」

以上2点、川名山聖霊修道院病院で震災2年目の祈りの集いのために造ったものです。 Sr.小笠原

## 洗礼を受けて

テレジア・近藤起久子

初めて南山教会に連れてきていただいたのは、昨年の復活祭のときです。一昨年、思いがけない病気がわかり、手術や治療で泣いてばかりの日々に、ずっと会いたいと思っていたのは、学生時代の恩師でした。卒業以来二十年以上、年賀状だけで無礼を重ねてきましたが、いたたく年賀状にはいつも、遥かなものを感じさせる何かがあって、先生なら、この暗やみから抜け出す方法を教えてくれるような気がしました。連絡をとると、すぐに会ってくださいます。先生は南山教会に通うクリスチャンでした。教会に連れてきていただき、お祈りするようになる。少しづつ心が落ち着いてきました。先生の奥さまには健康や仕事のことなど、親身になって相談のついでにいただきました。しだいに、この方たちの信じる神さまを自分も信じたいと思うようになります。洗礼を受けたい決心をします。よちよち歩きのクリスチャンですが、神さまの大きな計画のなかを一歩ずつ、光の子として歩んでいきたいです。

チエチーリア 岩村朋子

穏やかな気持ちで洗礼式を迎えられましたこと、神父様や南山教会の皆様深く感謝申し上げます。

幼少期に触れた教会音楽は今でも記憶に残る感動的なキリスト教との最初の出会いでした。十数年後、再び音楽を通して信仰に導かれましたが、その先へ踏み出すには、迷い考える長い年月が必要でした。模索する中、カトリックのミサに参加したことが転機となります。集中し霊的な何かを自然に感じる事ができたのです。

カトリックに興味を持ち入門講座に通う中で、ボクダン神父様のお話は長年の霧が晴れていくかのようにでした。私自身、神様と触れる姿勢が大きく変化し、祈りは頭でなく心で感じることで受洗へと気持ちが高まっていきました。そして迎えた洗礼式では復活徹夜祭の奏楽をご奉仕される大森さんが代母を快くお引受くださり、捧げられる音楽からも大きな力を頂き、喜びは2倍となりました。感謝と愛をもって心豊かに歩めますよう、日々祈りたいと思います。

\*広報委員会の不手際で掲載が遅れました。大変申し訳ございませんでした。お二方を始め皆様に心よりお詫び申し上げます。

## カトリック教会のカテキズムより

「皆、これを取って食べなさい」－聖体拝領

- 1384 キリストは、エウカリスチアの秘跡でわたしたちがご自分をいただくよう強く促しておられます。「はっきりいっておく。人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちのうちにいのちはない」(ヨハネ6,53)。
- 1385 キリストの招きにこたえるために、この重要で聖なる時に備えなければなりません。聖パウロは良心の糾明を勧めます。「ふさわしくないままで主のパンを食べたり、その杯を飲んだりする者は、主のからだと血に対して罪を犯すこととなります。だれでも、自分をよく確かめた上で、そのパンを食べ、その杯から飲むべきです。主のからだのことをわきまえずに飲み食いする者は、自分自身に対する裁きを飲み食いしているのです」(一コリント11,27 - 29)。大罪を犯したことを意識している人は、聖体拝領の前にゆるしの秘跡を受けなければなりません。
- 1386 この秘跡の偉大さを前にして、信者はただ百人隊長の次のことばを謙虚にまた熱烈な信仰をもって繰り返す以外にありません。「主よ、わたしはあなたをお迎えできるような者ではありません。ただ、一言おっしゃってください。そうすれば、わたしの魂はいやされます」。また、聖ヨハネ・クリズストモの聖典礼では、信者たちは同じ精神でこう祈ります。
- 「ああ、神の御子よ、あなたの神秘的な晩さんで、今日、聖体をいただきさせてください。わたしはこの秘密をあなたの敵対者に話さず、あなたにユダの接吻もいたしません。むしろあの盗賊のように、主よ、あなたのみ国においてになるときは、わたしを思い出してください、と叫びます」。

# 南山句会

平成二十四年十一月七日



わが庭に寂しく咲きぬ彼岸花

しめやかに秋の夜長の宮うつし

秋彼岸卓上の花咲きこぼれ

起重機の音こだまして秋深し

貞享の月日のはるか翁の忌

聖母へとささぐる祈り良夜して

芒野にのみ込まれゆく列車かな

退院日指折りかぞへ秋深む

満身にオペラの余韻星月夜

秋出水ノアの箱舟あれかしと

真喜子

紀子

瑞子

とく子

義子

聖子

豊子

牧子

せつ子

美智子

毎月第一水曜日午後一時半  
マリア館二階集会室

## 信者の消息

### 受洗

おめでとうございます

DALGLEISH ELENA MARIE NICOLE

テレサ・ベネディクタ 鄭心

アッシジのフランシスコ 小川成二

### 転出

いつまでもお元気で

シェノのカリナ 深田 ちず子(麹町教会)

エリザベット 竹口 智恵美(愛宕教会)

マリア・インマクラータ 須佐美 桃香(北一条教会)

### 帰天

ご冥福をお祈り致します

ヨゼフ 荒川 幸之助(72歳)

マリア・ミカエラ Sr,玉置 鈴子(94歳)

ハイジンス 福山 徹(87歳)

マリア・マグダレナ 鎌田 静枝(89歳):在俗マリア会

ヨセフ 芳賀 正(79歳)

マリア・ミカエラ 玉置 鈴子 (94歳) (聖霊会)

### 教会維持費

11月は1.033.000円の維持費が納められました。有難うございました。

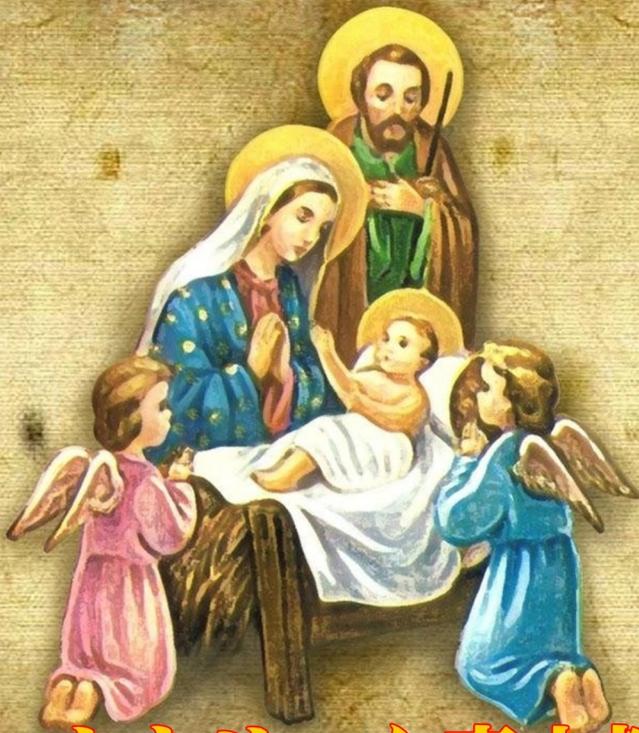
教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお祈りします。

## 2012年12月・2013年1月行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
12月	1(日)待降節第一主日(A年) 9(月)無原罪の聖マリア 25(水)主の降誕 29(日)聖家族	21(土)22(日)共同回心式 24(火)主の降誕の前夜ミサ 16:00・20:00(日英合同)・24:00 21:30クリスマスパーティ 25(水)主の降誕ミサ(7時、10時、19時) 31(火)23:00旧年感謝ミサ・新年の祝福	1(日)運営委員会 6(金)マリア会例会(懇談会) 8(日)典礼委員会 8(日)ヨセフ会班長会 14(土)子ども部屋クリスマス会 15(日)教会学校クリスマス会 15(日)ボーイスカウトクリスマス会 28(土)要約筆記付きミサ	1(日)宣教地司教育成の日(献金) 5(木)司祭協議会
1月	1(水)神の母聖マリア世界平和祈願日 5(日)主の公現 12(日)主の洗礼	1(水)10:00新年平和ミサ・成人式 12(日)管区に予算書提出 12(日)子どものミサ	5(日)運営委員会 5(日)教会学校・中高生会始業式 10(金)マリア会新年会 12(日)典礼委員会 12(日)ヨセフ会班長会 18(土)10:30子ども部屋 25(土)要約筆記付きミサ 26(日)ヨセフ会新年会	1(水)世界平和の日 16(木)司祭協議会 18(土)~25(土)キリスト教一致祈禱週間 19(日)信徒協「司教を囲む新年の集い」 26(日)児童福祉の日特別献金

「今日ダビデの町で、  
あなたがたのために  
救い主が  
お生まれになった。」

ルカによる福音 2・11



# カトリック南山教会 クリスマスミサのご案内

クリスマスイヴの夜

12月24日(火) 16:00; 20:00; 24:00

クリスマス当日

12月25日(水) 7:00; 10:00; 19:00

年末年始ミサ時間

旧年感謝ミサ: 12月31日(火) 23:00

(ミサ後聖体礼拝と新年の祝福を行います)

新年ミサ(成人式): 1月1日(水) 10:00

カトリック信者でない方も、ミサに参加することができます。

<http://nanzankyokai.net>